

じ ちん さい 地 鎮 祭

～土地の神様にご挨拶を申し上げ、工事の無事を祈願する～

家の新築工事や、土木工事などにとりかかる際
その土地をお守り下さる神さまにご挨拶申し上げ
工事の安全と無事の竣工を祈願する祭儀を「地鎮祭」
(じちんさい) といいます。

地鎮祭は建主が中心となって執り行う祭儀で、
日柄の良い大安・友引・先勝などに、建築業者も
参列して建主と共に工事の順調な運びをお祈りい
たします。



祭場をおつくりするには、先ず土地の中央に斎竹 (いみだけ) と呼ばれる特別な青竹を2
本四方に杭を打って立てます。斎竹に囲まれた空間は清浄な空間となります。
更に、神聖な場所を示す注連縄 (しめなわ) を張りめぐらせます。ここに祭壇を設け中央
には、神さまのお寄りになる場所として、榊 (さかき) に麻と紙垂 (しで) をつけた神籬
(ひもろぎ) を立てます。手前には神饌 (しんせん) と呼ぶ、お供えものをそなえます。

◆準備について

祭 具 斎竹4 本(2、5本)、注連縄、榊 (さかき) 、杭 (くい) 4 本
神饌(お供え物) ①お米 (2～3 合) ②お酒 (一升) ③魚 (尾頭つき鮮魚)
④海菜 (昆布、するめ) ⑤野菜 ⑥果物 ⑦塩 (一合弱) ⑧水 (500 ㍓)
⑨その他 紙コップ(参列人数分)

※野菜・果物は季節のものを彩りを考えて一盛ずつ御用意願います。

お供え物は神さまにお上げするものですので、清浄を旨とし、心のこもった新しく良い
ものを選んで準備するよう心がけて下さい。

◆式は参列者を祓い清める「修祓 (しゅばつ) 」から始まり、続く「降神 (こうしん) 」
で神さまを神籬にお迎えし、お食事の神饌をお供えします。次に宮司による祝詞の奏上
でお祈りの言葉を申し上げ、永久に災害等が無いように土地のお清めをいたします。次
いで玉串 (榊の枝) に願いを込めて、建主から順に拝礼を戴きます。次いで、お供え物
をお下げし、「昇神」で神さまには、この土地に御神徳を残して、元の神社へお帰り願
います。その後「直会 (なおらい) 」というお供えしたお神酒を一同で戴く儀式があ
り、終了いたします。

○ 例えば中古住宅をお求めの方もリフォーム後、これに習い家中の清祓えをいたし
ます。取り壊し時にも「清はらい」を行います。詳しくはお尋ねください。

おぼえ

初穂料 (神前へ納めていただく料金) は3 万円です。加えてお車代として5 千円お納め願います。
また、神社側「神饌」の用意を希望の方は別途1 万円お納め願います。

霊泉の杜 瀧宮神社

☎ 048-571-0741 FAX 048-578-7406

無断転載を禁ず